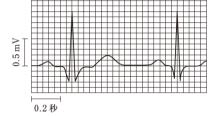
# 105-216

# 問題文

投与前



投与後



- 1. 心室筋細胞からのNa <sup>+</sup> 流出の直接的抑制
- 2. 心室筋細胞からのK + 流出の直接的抑制
- 3. 心室筋細胞の活動電位持続時間の延長
- 4. 洞房結節の脱分極の直接的促進
- 5. 不応期の短縮

## 解答

問216:3問217:2,3

### 解説

#### 問216

問 217 と合わせて解説します。

#### 問217

問 216 の

選択肢 1,2 ですが

フロセミド、トルバプタンはそれぞれ抗不整脈薬ではありません。心拍数の調節を目的とした薬剤としては不適切と考えられます。

#### 選択肢 3.5 ですが

アミオダロン、ソタロールは共にクラス III 群の抗不整脈薬です。「 **K <sup>†</sup> チャネルを遮断** 」します。その結果、 **心室活動電位持続時間延長により頻脈が改善** されます。腎機能低下患者なのでアミオダロンが妥当と考えられます。アミオダロンが CYP3A4 で代謝され、そこから肝代謝と判断できると考えられます。 ()

#### 選択肢 4 ですが

ジベンゾリンコハク酸塩 (シベノール) は、クラス la 群に属する抗不整脈薬です。主に尿中排泄される薬です。検査値から腎機能がかなり低下しており「最も適切」とはいえないと考えられます。 ()

以上より 問 216 の正解は 3 です。 問 217 の正解は 2,3 です。